



みち 古道が紡ぐ物語



かみ かい どう 上 街 道

かみ みち
～上ツ道をルーツにもつ、物語性豊かな街道を行く～

古く、平城京と飛鳥の都とを結ぶ幹線道路として整備された上ツ道。今回訪ねる上街道は、上ツ道を基礎としながら、奈良・天理・三輪・桜井といったまちを結ぶ基幹道路として栄えました。また長谷寺や室生寺、大神神社などへの参拝道となったほか、大阪から伊勢神宮へと参詣する伊勢街道としても発達。行き交う旅人で、大変な賑わいのあった道です。今回は、上街道の北の起点・猿沢池付近から出発し、横大路との結節点・慈恩寺追分までの道程を、沿道の伝説を紹介しつつ辿ります。

おびとけでら 猿沢池（奈良市）から奈良町を抜け帯解寺へ

上街道の起点、猿沢池（奈良市登大路町）。ここから池の西沿いの道を南進してすぐ、町家の風情を残したエリアが「奈良町」である。

平城京の「外京（東側に突出した部分）」を起源として栄え、慶長9（1604）年の町域画定で定められた奈良町。明治31（1898）年の市制移行に伴い行政区画名としては消滅したが、現在は元興寺旧境内の町家風情が残る一帯を指す言葉として残った。この奈良町で活躍するのが、公益社団法人「奈良まちづくりセンター」である。

同センターは、奈良町の風情が都市開発によって失われることを危惧し立ち上がった「奈良地域社会研究会」（1979年設立）を前身として、1984年に社団法人化。市民主導のまちづくり団体の法人化は、当時全国でも珍しく、その後のまちづくり運動に先鞭をつけた試みであった。

歴史的情緒と風情が守られた奈良町は、現在、多くの観光客で賑わう。同センターをはじめとする民間と、行政の取組みが実を結んだ結果である。2014年に公益社団法人化を果たした同センターは、奈良県外にも活動の場を広げている。

奈良町を抜け、上街道を南下する。街道沿いに、伊勢神宮ゆかりの常夜燈が二つ並ぶ場所がある。上街道が、大阪から伊勢神宮へと参詣するための伊勢街道でもあったことの証左である。

街道沿いにさらに南下すると、安産祈願の寺として有名な帯解寺（奈良市今市町）がある。子ど

奈良まちづくりセンターの拠点「奈良町物語館」（奈良市中新屋町）（右）



街道沿いに二つ並んだ常夜燈（奈良市肘塚町）（左）

安産祈願で有名な帯解寺（奈良市今市町）（右）



もに恵まれず悩んでいた文徳天皇の妃・藤原明子が本尊の子安地藏に祈願したところ、惟仁親王（のちの清和天皇）を懐妊・出産した。喜んだ文徳天皇は天安2（858）年に伽藍を建立、無事に「帯が解けた」ことから「帯解寺」の寺号が勅賜されたという。

ありわらでら たんぼいち 在原寺跡（天理市）から丹波市、黒塚古墳へ

帯解寺から少し南下すると天理市に入る。西名阪国道の高架下をくぐってすぐ、民家の脇の小道の先に在原寺跡がある。在原業平の邸宅の跡地に建てられたと伝わるが、寺は明治期の廃仏毀釈で消滅し現存しない。現在は在原神社の境内に、「伊勢物語」の第23段「筒井筒」に登場する、幼馴染の男女が背丈を比べあったという筒井筒（井戸の地上部を石や木で覆ったもの）と伝わる井戸が残る。



在原寺跡と筒井筒（左上）、丹波市の市場跡に建つ屋根掛け（右上）、長岳寺五智堂（左下）、黒塚古墳（右下）

天理商店街のアーケードを越え、旧家のまち並みを進む。この付近は、中世末期に市が置かれて以来、大いに繁栄した地域であり、昭和 29（1954）年の天理市制施行まで丹波市町と呼ばれた。現在は静かなまち並みであるが、街道の真ん中に立つ魚市場跡の大きな屋根掛けが、往時を偲ばせる。

旧海軍の戦艦「大和」に分霊が勧請されたことで有名な大和神社を過ぎると、長岳寺五智堂が左手に見える。その右手には三角縁神獣鏡の発掘で一躍有名となった黒塚古墳がある。

巻向（桜井市）から三輪、慈恩寺追分まで

桜井市に入っすぐ、纏向遺跡で有名な巻向に至る。JR 桜井線によって分断された上街道をさらに南にたどると、大きな森のような箸墓古墳（桜井市箸中）が見えてくる。倭迹迹日百襲姫命の墓に治定され、一説に卑弥呼の墓という。

箸墓を越えると、三輪山をご神体とする大神神社の門前町、三輪に至る。江戸時代には宿場町としても栄えた町であり、古い商家が多く立ち並ぶ情緒ある町であると同時に、「三輪山伝説」の舞台でもある。伝説を以下に要約する。

—美しい女（活玉依毘売）のもとに、毎晩麗しい男が訪ねてくる。女はその男の正体を知るため、糸巻の糸を男性の衣に通す。翌朝女が糸をたどると、美和山の社に通じていた。男は大物主大神であったのである。またこの時、糸が3巻（三勾）だけ残されたことから、この地を三輪と呼ぶ—

この伝説が日本版「運命の赤い糸」として人気を集め、三輪は「恋のパワースポット」として注目されている。

ここから南東へ進む途中で、上街道は山の辺の道に重なり、慈恩寺追分で初瀬街道（横大路）と合流し、伊勢本街道に繋がる。（太田宜志）



箸墓古墳（桜井市箸中）（左）

旧商家の残る三輪のまち並み（桜井市三輪）（右）

